

実施計画審査意見書

105 横須賀流通業務拠点基盤整備事業

横須賀流通業務拠点基盤整備事業（以下「本件事業」という。）は、西武鉄道株式会社が、横須賀市山中町128番1他に流通業務拠点等約50.53ヘクタールの土地を造成するものであるが、供用開始後については、トラック等の施設利用車両が多く走行する計画である。また、実施区域の現況の土地利用は、山林が大部分を占めており、北側の尾根は一部塚山風致地区に含まれている。さらに、実施区域及びその周辺は、横須賀市街地に至近であるにもかかわらず、三浦半島を横断する二子山軸の東端に位置し、良好な自然環境を有する場所である。

このような状況の中で、本件事業の環境影響予測評価実施計画書を審査したところ、その審査結果は、以下のとおりである。

事業者は、環境影響予測評価書案の作成に当たっては、これらの内容を十分踏まえ適切な対応を図る必要がある。

1 調査計画について

植物・動物・生態系（水生生物）

水生生物の調査を秋季及び冬季に実施することとしているが、羽化等に伴う水生生物の生息状況の季節的な変化も把握する必要があるため、春季及び夏季の調査を実施すること。

2 予測計画について

(1)大気汚染（一般環境項目）

実施区域外周に自然地形を残し、沢部を盛土する造成計画であることから、流通業務地区等より発生する自動車排出ガスが滞留する可能性があるため、周辺住宅地等への大気質の影響について、短時間高濃度の予測を実施すること。

(2)大気汚染（一般環境項目）

ア 施設利用車両の走行による大気質変化の予測に当たり、バックグラウンド濃度については、各予測断面における施設利用車両以外の現在及び将来の自動車の走行による排出ガスの影響を加えること。

イ 二酸化窒素の予測に当たっては、施設利用車両からの寄与濃度及びバックグラウンド濃度を、個々に二酸化窒素濃度として算出した後合算することとしているが、それぞれを窒素酸化物濃度として算出し、それらを合算した値を二酸化窒素濃度に変換すること。

3 調査及び予測計画について

植物・動物・生態系（植物・動物・水生生物・生態系）

注目種候補の選定において、選定基準文献を神奈川県レッドデータ生物調査報告書、植物版レッドリスト等としているが、淡水魚類のレッドリストを選定基準文献に加えること。

また、生態系ユニットの分割については、主に植生による分割を行っているが、植生の組み合わせ、動物群集の存在、地形、水系等を視点にいった分割についても再検討すること。

4 環境の特性に基づき配慮しようとする内容

(1)植物・動物・生態系（植物・動物・水生生物・生態系）

トウキョウサンショウウオやゲンジボタル等の生息が確認されている計画地北西側の下山川水系の主尾根部及び計画地南側の谷戸部の現況 生態系の保全に極力努めるとしているが、当該箇所（水系等）を保全することとした理由を明らかにした上で、トウキョウサンショウウオ等の分布状況、生息環境等生態系に配慮した保全の考え方を再検討すること。

(2)レクリエーション資源（レクリエーション資源）

実施区域内を通過する既設のハイキングコースについては、現況のまま保全するのではなく、公園、緑道等を効果的に整備配置することにより 当該ハイキングコースの連続性を確保することとしているが、その整備をすることとした経緯を明らかにした上で、整備方針を検討すること。